

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

機能

FM/AM Digital TV CD/DVD Music Rack SD iPod USB VTR

DSP/SRS CS Auto・イコライザ・フェードバランス・BeatJam・MP3/WMA・ハンズフリー

※上記表のはAV SOURCE画面に表示される各モードボタンを表します。

※iPodを接続するには別売のiPod接続コードが必要になります。[P.19ページ]

※USBを接続するには別売のUSBコードAが必要になります。[P.19ページ]

※VTR機器を接続するには別売のVTRコードが必要になります。

※BeatJamを使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamが必要になります。[P.19ページ]

- Bluetooth対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

 AD09-0033005
 005WWCA0234

- 本製品には、株式会社リコーがデザイン制作したりコーJetフォントを使用しております。

ACCESSTM
NetFront[®]

- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

このシステムでできること

はじめに／共通……………P11～43

- 本機を正しく使うための説明
- 映像やオーディオの調整

など

録音設定／データ管理……………P45～73

- 録音方法(手動／自動)の選択
- 録音のしかた
- HDDの情報
- ローカル／カスタムアップデート
- データの初期化
- BeatJam

など

CD……………P75～85

- CDを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生

など

MP3／WMA……………P87～103

- MP3／WMAを聞く
- フォルダや好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート再生

など

Music Rack……………P105～143

- Music Rackを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生
- 選曲モード(アルバム名／アーティスト名／ジャンルなど)から曲を選択する
- お気に入り登録
- タイトル情報の上書きやタイトル名の編集(変更)

など

ラジオ……………P145～157

- ラジオを聞く
- バンド(AMまたはFM)を選ぶ
- 手動／自動／エリア／プリセット選局
- 道路交通情報を聞く

など

映像 DVD／テレビ／VTR ……P159～253

- DVDを再生させる
- 地上デジタルテレビ放送を見る(12セグ／ワンセグ)
- VTR機能を使う

など

SD／iPod／USB……………P255～313

- SDカード／iPod／USBメモリデバイスに収録されているトラックを聞く
- iPodビデオを見る

など

ハンズフリー……………P315～351

携帯電話を操作することなく電話を受ける／かける

など

その他……………P353～391

- カスタマイズ機能
- システム設定
- リア席モニターについて
- 故障かな?と思ったときの対処方法や用語説明

など

- 本機の使用に関する全般的な説明およびナビゲーションの操作につきましては、別冊の取扱説明書 ナビゲーション編をお読みください。
- 本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合があります。
- 本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

はじめに／

録音設定／
データ管理

CD

MP3／WMA

MUSIC RACK

ラジオ

映像
VTR／テレビ

SD

iPod

USB

ハンズフリー

その他

目次(1)

はじめに／共通

P11~

本機で再生できるディスク	……12、13
データベースについて	……14、15
BeatJamについて	……15
SDカード／USBメモリデバイスに ついて	……16、17
DVDビデオについて	……18
接続コードについて	……19
はじめに	……20、21
AV MENU画面について	……22、23
AV SOURCE画面のモードボタンに ついて	……23
音声はそのまま、ナビゲーション 画面を表示する	……24
音声はそのまま、画面を消す	……25
音量を調整する	……26
画質調整のしかた	……27~29
画質調整を初期値に戻すには	……29
画面のイメージを変える	……30
オーディオの調整をする	……31~43
音場(臨場感)を変えるには	……31~33
イコライザ(音質)を変えるには	……34~37
スピーカーを設定する	……38、39
フェード・バランスの調整を するには	……40、41
車速連動音量を設定する	……42、43

録音設定／データ管理

P45~

録音方法の手動／自動を 選択する	……46、47
録音する	……48~52
本機のMusic Rack(HDD)機能に ついて	……48
Music Rack(HDD)への録音に ついて	……49、50
録音速度を選択し、録音方法／ 録音音質を選択する	……50~52
データ管理	……53~73
HDDの情報を知る	……53
音楽データの修復をするには	……54
音楽データの初期化をするには	……55
Gracenoteデータベースタイトル 情報の更新の流れについて	……56、57
Gracenoteデータベースの更新を するには	……58~62
Gracenoteデータベースのデータを 初期化するには	……63
BeatJamを利用する	……64
BeatJamでできること	……64
BeatJam使用上のご注意	……65
ノートパソコンへ接続するには	……66~73

C D

P75~

CDプレーヤーを使う	……76~85
各部の名称とはたらき	……76
表示部(再生画面)について	……77
CDを聞く	……78、79
CDモードを終了する	……80
CDを取り出す	……80
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ 選曲する(トラックに戻す／進める)	……81
早戻し／早送りをする	……81
再生モードを選択する(リピート／ ランダム／スキャン再生)	……82、83
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる	……84、85

MP3/WMAについて	88~93
MP3/WMAプレーヤーを使う	94~103
各部の名称とはたらき	94
表示部(再生画面)について	95
MP3/WMAを聞く	96、97
MP3/WMAモードを終了する	97
MP3/WMAディスクを取り出す	97
操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ 選曲する(トラックを戻す/進める)	98
早戻し/早送りを	98
好きなフォルダを選ぶ	99
再生モードを選択する(リピート/ ランダム/スキャン再生)	100、101
トラックリストより好きなファイル (曲)を選び再生させる	102、103

ラジオを使う	146~155
各部の名称とはたらき	146、147
表示部について	147
ラジオを聞く	148
ラジオモードを終了する	149
FM/AM放送を切り替える	149
プリセット1/プリセット2を選ぶ	150
選局する	151~153
プリセット(メモリー)する	154、155
交通情報を受信する	156、157

Music Rackを使う	106~143
各部の名称とはたらき	106
表示部(再生画面)について	107
Music Rackを聞く	109
Music Rackモードを終了する	110
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲 する(トラックを戻す/進める)	111
早戻し/早送りを	111
リスト表示より好きなトラックまたは アルバムを選び再生させる	112、113
選曲モードより選択し 再生させる	114~121
再生モードを選択する(リピート/ ランダム/スキャン再生)	122、123
アルバムリストの編集 (曲管理)	124~131
トラックリストの編集 (曲管理)	132~137
お気に入り进行管理する	138、139
再生中の曲をお気に入り登録 する	140、141
再生中の曲のジャンルとミュージック エスコートを設定する	142、143

目次(2)

D V D

P159~

DVDプレーヤーについて	…160、161
DVDプレーヤーを使う	…162~183
各部の名称とはたらき	…162~164
再生を始める	…165~167
DVDモードを終了する	…167
DVDディスクを取り出す	…167
再生を停止する	…168
再生を一時停止(静止)する	…169
再生中にチャプターを戻す／ 進める	…170
早戻し／早送りをする	…170
コマ戻し／コマ送りをする	…171
スロー戻し／スロー送りをする	…171
DVDメニューを使う	…172、173
タイトルメニューを使う	…174、175
好きな所から再生する (サーチ選択)	…176、177
音声言語／字幕言語を切り替える	…178
時間の表示を替える	…179
リピート(繰り返し)再生する	…180
アングル(角度)を切り替える	…181
VRモードディスク内の映像をリスト より選択し再生させる	…182、183
DVDの初期設定について	…184~191
初期設定を変更する	…184~191

テ レ ビ

P193~

(デ ジ タ ル T V)

テレビについて	…194、195
地上デジタルテレビ放送について	…194
地上デジタルテレビ放送の 番組受信について	…195
B-CASカードについて	…196、197
B-CASカードについて	…196
B-CASカードを入れる／取り出す	…197
B-CASカードに関する お問い合わせ先について	…197
Digital TVを使う	…198~250
各部の名称とはたらき	…198~203
パネル部について	…198
パナー表示について	…198、199
タッチパネル部のボタン について	…200~202
デジタルメニューについて	…203
Digital TVモードにする	…204、205
Digital TVモードにすると	…205
Digital TVモードを終了する	…205
視聴エリアの変更(地方／県域の設定) をする	…206、207
中継局を探す	…207
初期スキャン／再スキャン／ エリアスキャンをする	…208、209
選局する	…210~213
プリセットボタンに メモリーする	…214、215
エリア呼出／プリセット呼出 について	…215
チャンネルリスト／プリセットリスト を初期化する	…216、217
番組表を見る	…218、219
映像を切り替える	…220
音声を切り替える	…221
字幕表示を切り替える	…222
パナー表示の設定	…223
郵便番号設定	…224
文字スーパーを切り替える	…225
チャンネル表示設定	…226、227
時計表示設定	…228、229

テレビ (デジタルTV)

自動切替 (ワンセグ・12セグ・切替なし) の設定をする ……230、231
 サービスの設定をする ……232、233
 中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする ……234、235
 アンテナ電源の設定をする ……236、237
 受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する ……238、239
 B-CASカード (ICカード) のテストをする ……240、241
 放送局からの情報を見る ……242、243
 設定を初期化する ……244
 データ放送を利用する ……245～247
 リレーサービスの番組を見る ……248
 臨時サービスの番組を見る ……248
 緊急放送を見る ……249
 エラーコードについて ……250

SD

P255～

(SDカード)

SDカードの音楽再生について ……256～258
 SDカードを使う ……259～269
 各部の名称とはたらき ……259
 表示部 (再生画面) について ……260
 SDカードを聞く ……261、262
 SDモードを終了する ……262
 SDカードを取り出す ……262
 操作パネル上のボタンにて1曲ずつ
 選曲する (トラックを戻す／進める) ……263
 早戻し／早送りをする ……263
 リスト表示より好きなトラックまたは
 フォルダを選び再生させる ……264、265
 選曲モードより選択し
 再生させる ……266、267
 再生モードを選択する (リピート／
 ランダム／スキャン再生) ……268、269

VTR

P251～

VTR機能を使う ……252、253

目次(3)

iPod

P271~

iPodについて	272~275
iPodとは	272
使用上のご注意	272
対応可能なiPod	273
iPodを本機に接続するには	274、275
iPodを本機に接続すると	275
iPodを使う	276~293
各部の名称とはたらき	276
表示部(再生画面)について	277
iPodを聞く	278
iPodモードを終了する	279
再生を止める(一時停止)	279
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ	
選曲する(トラックを戻す/進める)	280
早戻し/早送りをする	280
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる	281
選曲モードより選択し 再生させる	282~287
再生モードを選択する(リピート/ シャッフル再生)	288、289
iPodビデオモードで映像データを 再生させる	290~293

USB

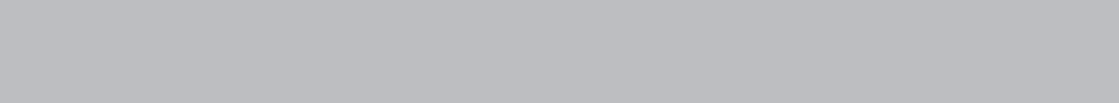
P295~

(USBメモリデバイス)

USBメモリデバイスの音楽再生 について	296~298
USBメモリデバイスを使う	299~313
各部の名称とはたらき	299
表示部(再生画面)について	300、301
USBメモリデバイスを 本機に接続するには	302
USBメモリデバイスを聞く	302、303
USBモードを終了する	303
USBメモリデバイスの接続を やめるには	303
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ	
選曲する(トラックを戻す/進める)	304
早戻し/早送りをする	304
USBフラッシュメモリのリスト表示 より好きなトラックまたはフォルダを 選び再生させる	305
ウォークマンのリスト表示より 好きなトラックまたはアルバムを 選び再生させる	306、307
選曲モードより選択し 再生させる	308~311
再生モードを選択する(リピート/ ランダム/スキャン再生)	312、313

ハンズフリーについて	316~318
Bluetoothとは	316
ハンズフリーとは	316
音声について	316
安全上のご注意	316
使用上のご注意	317、318
初期登録設定	319~335
携帯電話を登録する	319~323
マニュアル設定するには	321
登録した携帯電話の詳細情報を見る／ 削除する	324、325
通信設定をするには	325
携帯電話を切り替える	326
登録した携帯電話の自動接続を 設定する	327
携帯電話のメモリを本機に 登録する	328、329
車載機(本機)のBluetooth情報を見る	330
着信音量を設定する	331
受話音量を設定する	332
送話音量を設定する	333
自動的に保留する(自動応答保留)	334
パスキーを変更する	335
電話を受ける	336~341
着信音量を調整する	336
電話に出る	337
保留にする	338
通話を拒否(終了)する	339
通話中に自分の声を相手に聞こえない ようにする(ミュート)	339
通話を携帯電話に切り替える	340
トーン入力する	341
電話をかける	342~349
電話番号から	342、343
リダイヤルから	344
履歴から	345~347
アドレス帳から	348、349
発着履歴を削除する	350
通話中に地図画面を表示する	351

カスタマイズ(Quick)機能について	354
時計を表示する	355
システムの設定について	356、357
リア席モニターについて	358
オーディオ リモコン スイッチ	359
メッセージ表示について	360~362
故障かな?と思ったら	363~379
エリア番号と放送局一覧	380、381
用語説明	382~387
個人情報の取り扱い(初期化)について	388
初期設定一覧	388
索引	389~391



はじめに／共通

本機で再生できるディスク	12、13
データベースについて	14、15
BeatJam!について	15
SDカード／USBメモリデバイスについて	16、17
DVDビデオについて	18
接続コードについて	19
はじめに	20、21
AV MENU画面について	22、23
AV SOURCE画面のモードボタンについて	23
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	24
音声はそのまま、画面を消す	25
音量を調整する	26
画質調整のしかた	27～29
画質調整を初期値に戻すには	29
画面のイメージを変える	30
オーディオの調整をする	31～43
音場（臨場感）を変えるには	31～33
イコライザ（音質）を変えるには	34～37
スピーカーを設定する	38、39
フェード・バランスの調整をするには	40、41
車速連動音量を設定する	42、43

本機で再生できるディスク

	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL
		CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※ はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CD-G
- CD-ROM
- CD-EXTRA
- DVD-ROM

■下記のディスクは再生できません。

- フォトCD
- VIDEO CD
- SA-CD
- SVCD
- Blu-ray
- HD DVD
- DVD-RAM
- DVDオーディオ

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態/ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- 記録に使用したレコーダとの相性が悪い場合
- CD-R/CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3/WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3につきましては「 「MP3/WMAについて」88～93ページを参照してください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

！ 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。[P 161、182、183ページ]
- デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。
[P 「●DVD再生ディスク対応一覧表」 161ページ]
- ※DVD-R、DVD-R DLに記録する場合ファイナライズが必要です。
DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。
- ※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。
- ※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

8cmディスクは対応しておりません。

※アダプターを使用しての再生もできません。アダプターを使用しますとディスクを取り出せなくなる恐れがあり、故障の原因になります。

■dts-CD(dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD)について

CDモードでは再生できます。Music Rackモードでは正常に録音／再生できません。

■コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に[CDロゴ]  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。また、ご使用になる前にディスクに付属されている説明書などをお読みください。

■特殊ディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクやCDリングプロテクターを装着したディスク、市販されているスタビライザーは使用しないでください。本機が故障する原因となります。記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Disc、市販されているプロテクトフィルムは正常に出し入れや再生ができなくなる恐れがありますのでご使用にならないでください。

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

■Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright©2000-2010 Gracenote.

Gracenote Software：Copyright©2000-2010 Gracenote.この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDbはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください

:www.gracenote.com/corporate



「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

■Gracenoteデータベースのご利用について

■この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア (以下「Gracenoteソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenoteデータ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenoteサーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote [プライバシーポリシー](#)を参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。

Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2010

BeatJamについて

別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROMでBeatJamをパソコンにインストールすることにより株式会社ジャストシステムのBeatJamサービスを利用することができます。

☞ 64～73ページ

SDカード／USBメモリデバイスについて

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。

本機ではSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

●SDメモリーカード ●SDHCメモリーカード ●miniSDカード* ●microSDカード*

*：専用のアダプターが必要です。

■本機はSDXCカードには対応していません。

■32GBまでの容量の“SDカード”“USBメモリデバイス”に対応しています。

■USB接続のカードリーダーには対応していません。

※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマンです。

USBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン以外のものは接続しないでください。

動作保証できません。  296ページ参照

※iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してiPodを再生させることもできます。  275ページ

■フォーマット(初期化)について

●SDカードのフォーマットは本機で行なってください。

 別冊の取扱説明書ナビゲーション編「データを初期化(消去)する」275、276ページ

※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行ってから使用してください。

●USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。(FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。)

■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

■miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。

■SDカード挿入口やUSBの端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／HDDにデータ転送中は抜かないでください。また、車のエンジンを切らないでください。データが破損されることがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所では、SDカードやUSBメモリデバイスを使用しないでください。また、放置しないでください。データが破壊されることがあります。

■本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますので買い上げの販売店にご相談ください。

■操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態ではSDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。

■本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。

- Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」56～62ページ
- 画像の追加やコピー
 別冊の取扱説明書ナビゲーション編
「画像を追加する」253～255ページ
「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」256～258ページ
- 音楽再生  255～269ページ
※対応可能なSDカードと再生につきましては257ページを参照してください。

■本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。

- Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」56～62ページ
- 画像の追加やコピー
 別冊の取扱説明書ナビゲーション編
「画像を追加する」253～255ページ
「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」256～258ページ
- 音楽再生  295～313ページ

■SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。

■長時間で使ったあと、SDカードやUSBメモリデバイスが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

■SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。

■SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しません。

■SDカードに誤消去防止スイッチ（LOCK）が付いている場合、「LOCK」にしていると書き込みまたは初期化（フォーマット）できません。「LOCK」を解除してください。

■SDカード／USBメモリデバイスの最適化は行なわないでください。

■SDカード／USBメモリデバイス内のデータは圧縮しないでください。圧縮したデータは再生できません。

※本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

DVDビデオについて



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕



DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。



アドバース

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

●マクロビジョン

本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。

●ドルビーデジタル

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

●dts



米国特許番号：5,451,942；5,956,674；5,974,380；5,978,762；6,487,535、およびその他の米国や世界中に申請中並びに審理中の特許ライセンスに基づき製造されています。DTSは登録商標です。DTSロゴとシンボルおよび2.0 ChannelはDTS, Inc.の商標です。

©1996-2009 DTS, Inc. All Rights Reserved.

- 別売のUSB接続コード☆ (USBコードA)、iPod接続コード◎、USB接続コード& BeatJam★を使用すると、iPodやUSBメモリデバイスの音楽を聞いたり、ノートパソコンに接続して曲を本機に転送したりすることができます。

【USB接続コード】☆



USBコードA

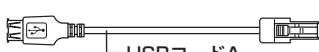
☆：USBメモリデバイス/iPodの音楽再生が可能です。

【iPod接続コード】◎



◎：iPodの動画・音楽再生が可能です。

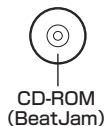
【USB接続コード& BeatJam】★



USBコードA



USBコードB

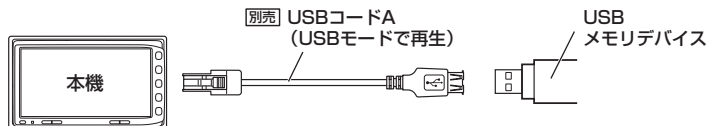


CD-ROM (BeatJam)

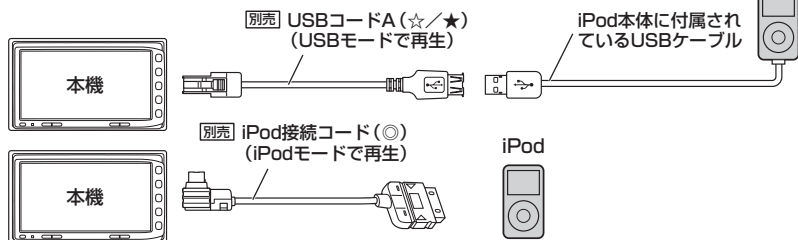
★：USBメモリデバイス/iPodの音楽再生、PC接続 (BeatJamの使用) による音楽データの転送が可能です。

※使用例は以下の通りとなります。☆☆◎マークの付いている別売品で対応可能です。

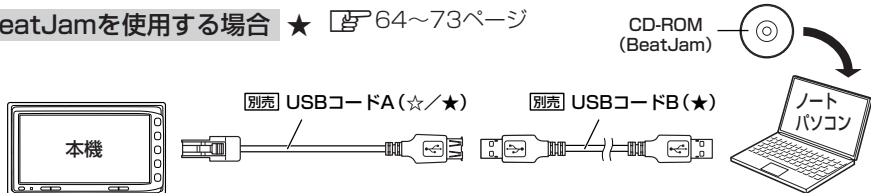
■ USBメモリデバイスを再生させる場合 ☆/★ 295～313ページ



■ iPodを再生させる場合 ☆/★/◎ 271～293ページ



■ BeatJamを使用する場合 ★ 64～73ページ



- 別売のVTRコードやAUX接続コードを使用してVTR機能を使うことができます。

【VTRコード】



【VTRコード】

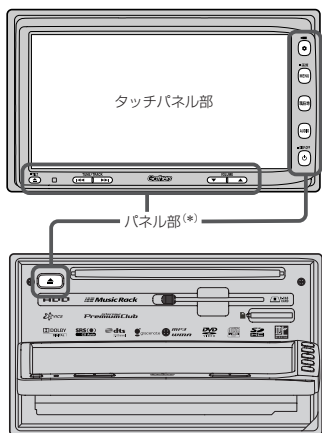


【AUX接続コード】



※使用例は「VTR機能を使う」252、253ページを参照ください。

はじめに



本書では、

タッチパネル部のボタンは画面の“〇〇ボタンをタッチする”
パネル部*のボタンはパネルの“〇〇ボタンを押す”と記載しています。
(*：使用するボタンは白色表示しています。)

※本書のマークについて



……………本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、
知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。



お願い……………お車のために守っていただきたいことを表しています。



……………画面上でタッチパネル操作を表します。



……………操作手順が次のステップで分けられるときの案内をします。



……………操作を行なった結果を説明します。



……………パネル部のボタンを表します。



……………タッチパネル部のボタンを表します。

●パネル部の詳細につきましては別冊の取扱説明書 ナビゲーション編
44ページを参照してください。

- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とはFM/AM/Digital TV/CD/DVD/MP3/WMA/Music Rack/SD/iPod/USB/VTRモード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています。)

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 **2** (21ページ)へ進んでください。

1

車のエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の取扱説明書 ナビゲーション編43ページを参照してください。



起動初期画面



モード表示画面(USBモード画面(例))



アイコン表示
(USBモード選択中)

FM …FMモード(ラジオ)

AM …AMモード(ラジオ)

DTV …Digital TVモード

CD …CD/MP3/WMAモード

DVD …DVDモード

MR …Music Rackモード

SD …SDモード

iPod …iPodモード

USB …USBモード

VTR …VTRモード



お願い

車のエンジンスイッチを I (ACC) (エンジンを停止したまま) の状態で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 それぞれ、下記の場合にしたがって操作してください。

■ ナビゲーション画面または他のモードが表示された場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

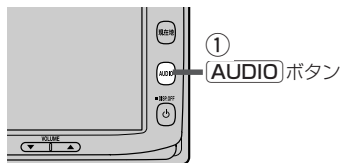
□ ラストモード*画面のときは…

もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）

② 操作したいモード (**FM/AM** / **Digital TV** / **CD** / **DVD** / **Music Rack** / **SD** / **iPod** / **USB** / **VTR**) ボタンをタッチする。



AV MENU画面 (例)

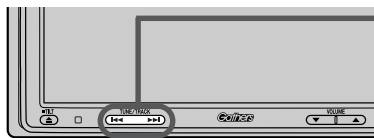


■ 操作したいモード画面が表示された場合

76～313ページにしたがって、ご希望の操作をしてください。



アドバンス



● 各モードに合わせて呼び名を変えています。

トラック ボタン…CD/MP3/WMA/Music Rack/
SD/iPod/USB

選局 ボタン…FM/AM/Digital TV

スキップ ボタン…DVD

設定の保持について

- **決定** ボタンのある画面では、**決定** ボタンをタッチすると設定が保持されます。
決定 ボタンをタッチしないで **戻る** ボタンをタッチまたは **MENU** / **現在地** ボタンを押すと設定は保持されません。
- **決定** ボタンのない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定（設定保持）となります。
（例：映像／オーディオ調整など）

AV MENU画面について

AV MENU画面はパネルの **AUDIO** ボタンまたは **MENU** ボタンを押して表示させます。そのとき、選択するボタン (**AV SOURCE** / **AUDIO設定** / **システム設定**) によってAV SOURCE、AUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

● **AUDIO** ボタンを押した場合



- ★1：ナビゲーション画面のときはAV MENUまたはラストモードを、オーディオ画面のときはAV MENUを表示します。
※ラストモードのときは、もう一度 **AUDIO** ボタンを押すとAV MENUを表示します。

● **MENU** ボタンを押した場合



AUDIO設定画面／システム設定画面は最終選択時の状態を保持するため、状態によっては **AUDIO設定** または **システム設定** ボタン選択の操作は省略することができます。

- ★2：ナビゲーション画面のときに **MENU** ボタンを押すとNAVI MENUが表示されるので **AUDIO** ボタンを押して* AV MENUを表示させてください。（*：ラストモードのときは、もう一度 **AUDIO** ボタンを押します。）



アドバイス

AV MENU画面 (例)



- 表示させたAV MENU画面は、**MENU** ボタン / **AUDIO** ボタンのどちらを押して表示させたかにかかわらず、**AV SOURCE** / **AUDIO設定** / **システム設定** ボタンを選択できます。
- ☆1： **交通情報** ボタンをタッチすると交通情報画面を表示します。 [P] 156ページ
- ☆2： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

AV SOURCE画面のモードボタンについて

選択可能モードは
文字が黒色表示*1



選択不可能モードは
文字が灰色表示



*1印：SDカード未挿入／USB未接続の場合でもモードボタンは選択できますが、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

*2印：*3のとき、一度他のモードにすると選択不可(*2の状態)となります。

選択中モードの場合、
文字およびアイコン青色表示



●CD/DVD表示について

CD/DVD モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

CD/DVD未挿入時*2



CD選択再生中に
ディスクを抜いた時*3



CD/MP3/WMA
ディスクを挿入し再生時



DVDディスクを
挿入し再生時



アドバース

●各モードボタンをタッチすることによってそれぞれのモードへと切り替わります。

FM/AM = FM/AMモード(ラジオモード)

Digital TV = Digital TVモード(地上デジタルテレビ放送)

CD/DVD = CD/DVD/MP3/WMAモード

Music Rack = Music Rackモード

SD = SDモード

iPod = iPodモード

USB = USBモード

VTR = VTRモード

※**CD/DVD** ボタンはディスク挿入の有無によって**CD** ボタン/**DVD** ボタンと表示が変わります。

※SDモードを使用するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

※iPodモードを使用するには別売のiPod接続コードを使用してiPodを接続しておく必要があります。

※USBモードを使用するには別売のUSBコードAにUSBメモリデバイスを接続しておく必要があります。

(iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用して、USBモードでiPodを再生させることもできます。)

〔P 19、275ページ〕

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1

各モードの画面で、
パネルの **現在地** ボタンを押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。



アドバース

右画面にAVを表示する設定にしている場合は、ナビゲーションとオーディオの同時表示となります。



ナビゲーション画面 オーディオ画面

「カスタマイズ(Quick)機能について」 354ページ

CDモード画面(例)



1 **現在地** ボタン



■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

①パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：選択中モードの画面に戻り、選択中モードのタッチパネルでの操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、パネルの **現在地** ボタンを押してください。

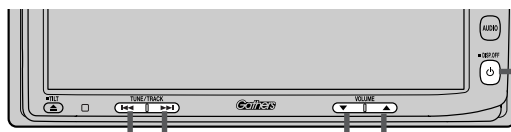


① **AUDIO** ボタン



アドバース

オーディオの音量調整 (**VOLUME** ボタン) や **トラック** ボタンや **選局** ボタンや **スキップ** ボタン (**⏮** / **⏭**) を使っての操作、AVのOFF/ON (**電源** ボタン) は、ナビゲーション画面のままでできます。



VOLUME ボタン (**▼** / **▲**)

トラック ボタン / **選局** ボタン / **スキップ** ボタン (**⏮** / **⏭**)

* 用途によって呼び名が変わります。

「21ページアドバース参照」

音声はそのまま、画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

- 1 パネルの「電源」ボタン(⏻)を2秒以上押す。
：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

USBモード画面(例)

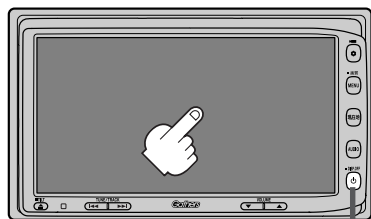


1 「電源」ボタン(⏻)

再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、再度「電源」ボタン(⏻)を押す。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



「電源」ボタン(⏻)



アドバイス

音声はそのまま画面中央に時計のみ表示させることもできます。

「時計を表示する」355ページ

はじめに
／

「ナビゲーション画面を表示する」
／
「画面を消す」

音量を調整する

USBモード画面(例)



音量を調整すると画面に現在の音の大きさを示すVOLUME (バーと数値*)が表示されます。
VOLUME表示は約2秒間表示されます。

* : 0~40

1 VOLUME ボタン(▼/▲)

1

パネルの **VOLUME** ボタン(▼/▲)を押す。

▲側 : 音量が大きくなります。

▼側 : 音量が小さくなります。

※押しつづけて調整することもできます。



アドバンス

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「音声案内の音量を調整／案内設定をする」
223~226ページ

- 音量は各モードで個別に設定できます。

- OPTION** ボタン()にミュート機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 249、250ページ

画質調整のしかた(1)

FM/AM/CD/MP3/WMA/Music Rack/SD/iPod/USBモード画面のとき、明るさ/コントラスト調整ができます。Digital TV/DVD/VTRモード画面のときは、明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い/ディスプレイ選択*ができます。(ただし走行中は明るさ/コントラストの調整となります。)



アドハイス

- *印：ディスプレイ選択はノーマル/フル/ワイド/シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、Digital TVモードの場合はフル固定となります。
- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ/コントラスト調整となります。
- 画質は、FM/AM/CD/MP3/WMA/Music Rack/SD/iPod/USBの画面、Digital TVの画面、DVDの画面、VTRの画面で別々に調整することができます。

共通
はじめに

音量調整

画質調整

1 パネルの **[MENU]** ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面設定画面が表示されます。



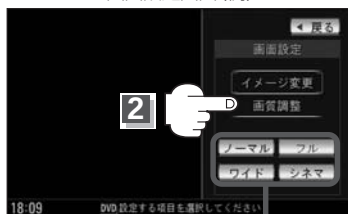
1 **[MENU]** ボタン

2 画面の **画質調整** ボタンをタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

*:ディスプレイ選択をする場合は29ページ
「**ディスプレイ選択の場合**」を参照してください。

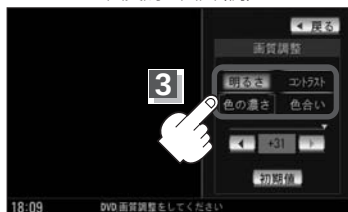
画面設定画面(例)



DVD/iPodビデオ/VTRモード画面の場合に表示されます。(ディスプレイ選択*)

3 調整したい項目(**明るさ** / **コントラスト** / **色の濃さ** / **色合い** ボタン)をタッチする。

画質調整画面(例)



画質調整のしかた(2)

4

画面の◀／▶ボタンをタッチして値を調整する。

画質調整画面(例)



4



アドバイス

- 調整はタッチパネルの◀ボタンまたは▶ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。
- 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い)の調整値をメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときで、それぞれ、お好みの値に調整してください。

■ 明るさ(1～31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると暗くなり、▶ボタンをタッチすると明るくなる。

■ コントラスト(1～31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると黒さが増し、▶ボタンをタッチすると白さが増す。



アドバイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は(+側へ)▶ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると淡くなり、▶ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると赤が強くなり、▶ボタンをタッチすると緑が強くなる。



アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

■ ディスプレイ選択の場合（DVD／iPodビデオ／VTRモード画面の場合）

手順 **1**（27ページ）で画面設定画面を表示する。

ノーマル／フル／ワイド／シネマの4つのタイプの中から、好きな表示画面のボタンをタッチする。

※ディスプレイ選択の場合、ボタンをタッチした時点で確定（決定）となります。

画面設定画面（例）



ノーマル : 4 : 3 の映像の画面
フル : 4 : 3 の映像を左右に引き伸ばし、
16 : 9 にした画面
ワイド : “フル” の違和感を少なくした画面
シネマ : 4 : 3 の映像をそのまま拡大した画面



アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- Digital TVモードの場合はフル固定となります。

5

設定を終わるには…

調整画面が消えるまで待つか画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- 画面右側の調整画面は約20秒間表示されます。
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を変更した場合はその設定で確定（決定）されます。

画質調整を初期値に戻すには

手順 **3**、**4**（27、28ページ）で調整した画質（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い）を設定する前の値（初期値）に戻すことができます。

画質調整画面で画面の **初期値** ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面（例）



画面のイメージを変える

背景やボタンのイメージ(色合い)を変更することができます。

1 パネルの **MENU** ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面設定画面が表示されます。

USBモード画面(例)



1 **MENU** ボタン

2 画面の **イメージ変更** ボタンをタッチする。

：イメージ変更画面が表示されます。

※画面設定画面は、画面に映像を表示するモードの場合に、ディスプレイを選択するボタンが追加されます。**「ディスプレイ選択の場合」** 29ページ

画面設定画面(例)

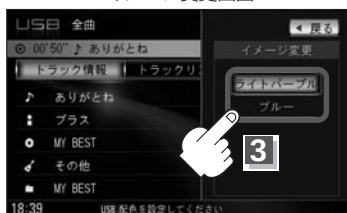


3 画面の **ライトパープル** または **ブルー** ボタンをタッチする。

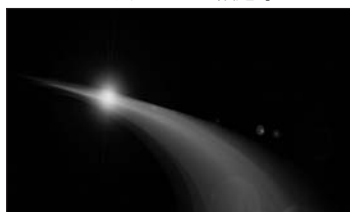
：選択したイメージ(色合い)で表示されます。

※選択中ボタンのイメージも変わります。

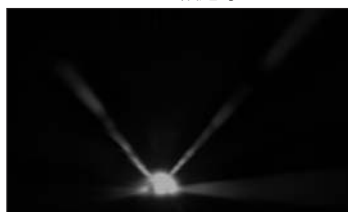
イメージ変更画面



ライトパープル設定時



ブルー設定時



※出荷状態(初期状態)は、ライトパープルに設定されています。

4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

※すでにイメージ(色合い)を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

オーディオの調整をする(1)

AUDIO設定

音場(臨場感)を変えるには

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、音場(臨場感)を変えることはできません。

1 オーディオモード画面で
パネルの **MENU** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを
2回押します。

※音場はLIVE/HALL/STADIUM/
CHURCH/SRS CS Autoの5種類です。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



手順 **3** で選択した
音場が表示されます。

1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **音場** ボタンを
タッチする。

：音場設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2



アドバイス

- 交通情報設定画面(156ページ)の場合、音場(臨場感)は得られません。(音場 ボタンは選択できません。)
- AV MENU画面につきましては122ページを参照してください。

3 お好みの音場(DSP/SRS CS Auto)を選択します。

■ DSPを使用する場合

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

ライブ
LIVE：音場をライブハウス

ホール
HALL：音場をコンサートホール

スタジアム
STADIUM：音場をスタジアム

チャーチ
CHURCH：音場を残響音の多い教会
に設定します。

① **DSP** ボタンをタッチし、お好みの音場
ボタン(**LIVE** / **HALL** / **STADIUM** /
CHURCH)をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

音場設定画面(例)



DSP選択時SRS CS Autoは設定できません。
(※SRS CS Autoの同時使用はできません。)

はじめに
共通

「画面のイメージを変える」

「音場を変える」

オーディオの調整をする(2)

■ SRS CS Autoを使用する場合

センタースピーカーやサブウーファーがなくても4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。

① **SRS CS Auto** をタッチする。

: SRS (の音場) 効果で再生されます。

● SRS CS Autoを選択したときは…

1. 各項目(**FOCUS** / **TruBass** / **MixToRear** ボタン)

と **－** / **＋** ボタンをタッチして音の高さ／低音の強さ／音の位置をお好みの値に調整することができます。

音場設定画面



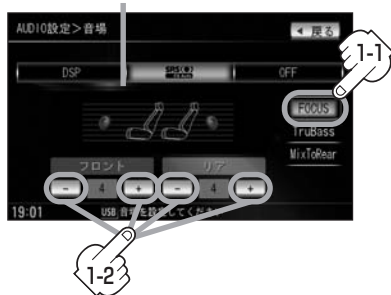
SRS ^{フォーカス} FOCUS : 耳の高さから音が聞こえるように調整できます。

SRS ^{トゥルーベース} TruBass : 低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
(サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。)

SRS ^{ミックストゥリア} MixToRear : フロントの音をリアに振り分けることができます。
(後席でもセリフなどを聞きやすくできます。)

□ **FOCUS** ボタンを選択した場合

イメージ図



フロントまたはリアの音の高さを

- －** ボタンタッチで低くし、
- ＋** ボタンタッチで高くします。(0～8)

□ **TruBass** ボタンを選択した場合

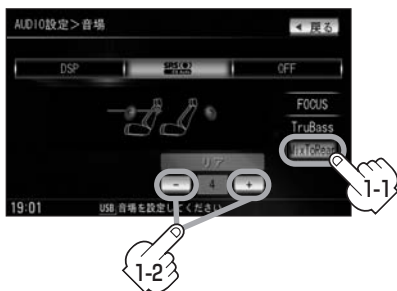
イメージ図



フロントまたはリアの低音のレベルを

- －** ボタンタッチで下げ(弱くし)、
- ＋** ボタンタッチで上げ(強くし)ます。(0～8)

□ MixToRear ボタンを選択した場合



フロントスピーカーの成分をリアスピーカーへ

- − ボタンタッチでレベルを下げ(出力を弱める)、
- ＋ ボタンタッチでレベルを上げ(出力を強め)ます。(0～8)



アドバイス

- 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに音場を選択している場合はその音場で確定(決定)されます。
- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- SRS CS Auto はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合もあります。
- 表示されるイラストは音場を表すためのイメージ図です。
- 手順 3 (31、32ページ)で音場を選択するとイコライザの設定(34～37ページ)は自動的にOFF選択となります。
- 音場効果(臨場感)をやめたい場合は音場設定画面(31～33ページ手順 3)でOFF ボタンをタッチしてください。



オーディオの調整をする(3)

イコライザ(音質)を変えるには

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザの中心周波数や効果を自在に調整することができるため、微妙な音響調整をすることができます。

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、イコライザの設定をすることはできません。

1

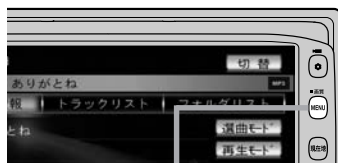
オーディオモード画面でパネルの

(MENU) ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**(MENU)** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 (MENU) ボタン

2

画面の**AUDIO設定**の**イコライザ** ボタンを
タッチする。

：イコライザ画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2

2-1



AV MENU画面につきましては[P.22](#)ページを参照してください。

3

好みの音質の選択または中心周波数(周波数帯域)の設定をします。

■ お好みの音質を選択する場合

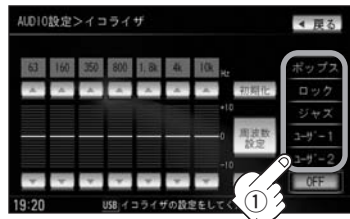
①音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。

※さらにお好きな値に調整することもできます。

[P.35](#) 右記

イコライザ画面



①



ポップス/ロック/ジャズは本機に既存の値が再生されています。ユーザー1/ユーザー2はイコライザの値がOFF状態(±0)となります。

※お好きな値に調整することもできます。[P.35](#)、[P.36](#)ページ

□ お好きな値に調整するには…

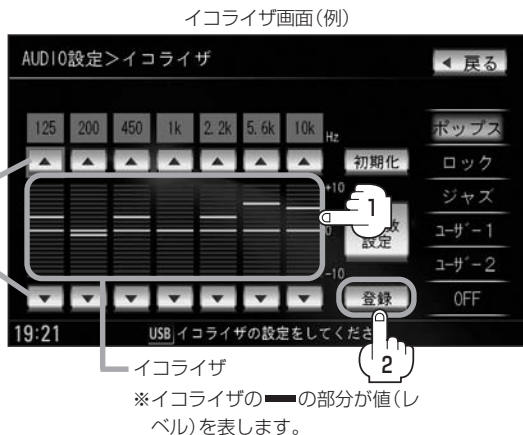
1. 値を調整する。

：イコライザをタッチする方法と
▲／▼をタッチして調整する
方法の2種類があります。

▲：レベルアップ
▼：レベルダウン

2. 登録 ボタンをタッチする。

：調整した値で上書き保存されます。



■ 中心周波数と効果を設定する場合

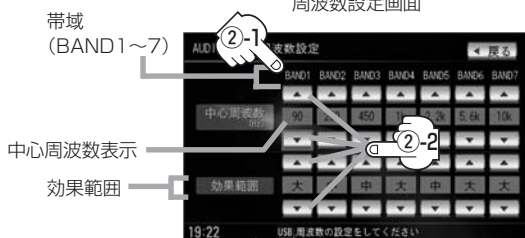
- ① 設定したい音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチし、
周波数設定 ボタンをタッチする。



：周波数設定画面が表示されます。

- ② 調整したい帯域(BAND1～7)を選択し、
中心周波数または効果範囲の▲／▼
をタッチする。

(例) BAND1を選択した場合
周波数設定画面



- ▲：中心周波数アップ／▼：中心周波数ダウン
- ▲／▼で効果範囲の大→中→小の切り替え

- ③ 戻る ボタンをタッチする。



：調整した値を保持しながらイコライザ画面に戻ります。

オーディオの調整をする(4)

④ 登録 ボタンをタッチする。



中心周波数の値を表示

：設定した値は上書き保存されます。



アドバイス

● 中心周波数と効果範囲の設定について

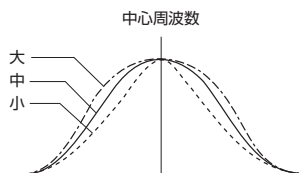
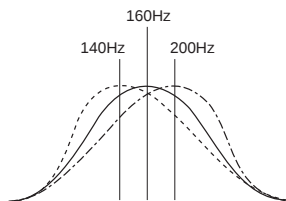
・ 中心周波数を調整することによってレベル補正の中心となる周波数を設定することができます。

・ レベルを調整したときのレベルの効果(変わりかた)を設定することができます。

大…中心周波数付近で大きくレベルが上がります。

中…大と小の間となります。

小…ゆるやかにレベルが変わります。



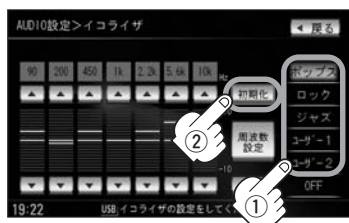
■ 調整した値を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

① イコライザ画面で初期化したい音質ボタン

(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**) をタッチする。

② 初期化 ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。



4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- イコライザ画面で **OFF** ボタンをタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。



- **登録** ボタンをタッチする前に **戻る** ボタンをタッチした場合、設定した値は保存されずAV MENU画面に戻ります。
- 手順 **3** (34ページ) で音質を選択(イコライザの設定を)すると音場(LEF 31~33ページ)は自動的に **OFF** 選択となります。
- イコライザ設定中はオーディオモード画面のとき **EQ** マークが表示されます。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



EQ マーク表示

はじめに
共通

「音質を変える」

オーディオの調整をする(5)

スピーカーを設定する

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時(31～33ページ)の音のゆがみを抑制することができます。

スピーカーの大きさについて

位置／大きさ	LARGE	SMALL
フロント	17cm以上	16cm以下
リア	17cm以上	16cm以下

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、スピーカーの設定をすることはできません。

1

オーディオモード画面でパネルの

(MENU) ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**(MENU)** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **(MENU)** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **スピーカー** ボタンを
タッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



アドバンス

AV MENU画面につきましては 22ページを参照してください。

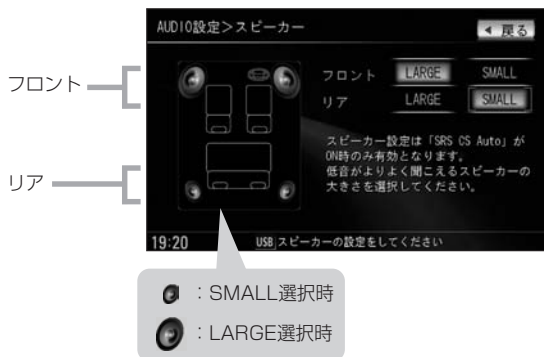
3

上記表を参照して画面の **LARGE** / **SMALL** ボタンをタッチする。

スピーカー設定画面



選択した結果が反映される



アドバイス

17cm以上の場合にはLARGE、16cm以下の場合にはSMALLの設定をおすすめします。

※スピーカーの大きさは目安ですので設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で、低音を確認していただき、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選択してください。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその変更した設定で確定(決定)されます。

オーディオの調整をする(6)

フェード・バランスの調整をするには

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

^{バランス}
BALANCE：左または右スピーカーの音量調整

^{フェード}
FADE：前または後ろスピーカー音量調整

※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、フェード・バランスの調整をすることはできません。

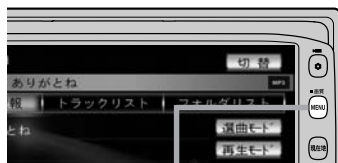
1

オーディオモード画面でパネルの
[MENU] ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **フェード・バランス**
ボタンをタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)

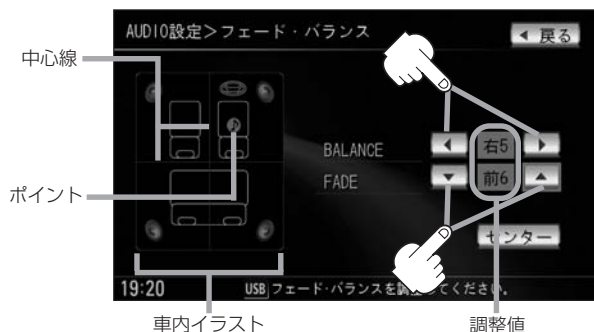


アドバイス

AV MENU画面につきましては「**2-2**」ページを参照してください。

3

調整したい項目(BALANCE/FADE)の◀/▶/▲/▼ボタンをタッチ
して値を調整する。



- 車内イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。

BALANCE (左9～右9)

◀ ボタンタッチ

：右スピーカーの音量が下がります。

▶ ボタンタッチ

：左スピーカーの音量が下がります。

FADE (前9～後9)

▼ ボタンタッチ

：前スピーカーの音量が下がります。

▲ ボタンタッチ

：後ろスピーカーの音量が下がります。



アドハイス

- 調整時に◀/▶/▼/▲ボタンをタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

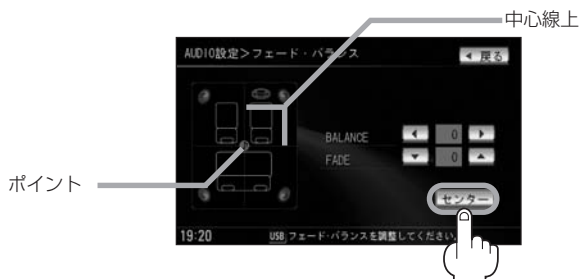
4

設定を終わるには…

画面の**戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドハイス

- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)されます。
- センター** ボタンをタッチするとBALANCE/FADEの調整値が0になり、ポイントを中心線上に戻すことができます。



オーディオの調整をする(7)

車速連動音量を設定する

車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

1

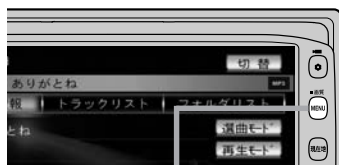
オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **車速連動音量** ボタン
をタッチする。

：車速連動音量設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



AV MENU画面につきましてはP.22ページを参照
してください。

3

設定したい音量

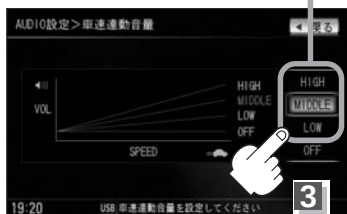
(**HIGH** / **MIDDLE** / **LOW** ボタン)を
タッチする。

※車速(走行速度)に応じて音量変化は

- HIGH…大きい
- MIDDLE…HIGHとLOWの間
- LOW…小さい

となります。

連動音量



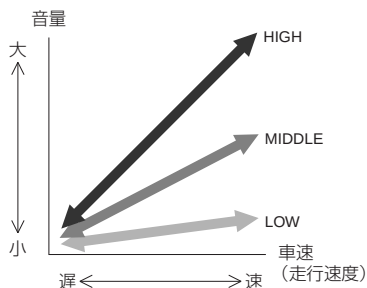
4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ（小さくし）ます。
※高速走行中など速度を上げているときに発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

- 連動音量を設定しない場合は左記手順 **3** のとき **OFF** ボタンを選択します。



- 車内イラストは音の出力を表すイメージ図です。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
すでに設定を変更した場合はその設定で確定（決定）されます。

